



露日関係

世論調査結果報告

モスクワ, 2016



目次

調査方法	3
主な結果	4
日本のイメージ	5
日露関係の評価	18
露日の歴史の歩みと二国間関係への影響	27
国際問題に対するロシア人の関心	39

調査方法

調査目的 - ロシア人の日本への見方及び露日関係への評価を調査すること

調査対象： 成人口ロシア国民（18歳以上の男女）

調査地域及び回答者数： 調査には3,600人が回答。

経済、年齢別人口、5つの居住地域： 回答者はそれぞれの経済的、社会的な層、及び年齢層を代表し、5つの地域（モスクワ市及びモスクワ州、ロシア欧州部、ウラル及びシベリア、極東、サハリン）に居住する18歳以上の成人口ロシア国民。

多段抽出層化地域別無作為サンプリングにより、以下の基準からロシアの人口を代表している。

- 性別
- 年齢
- 学歴
- 地域

標本誤差： ±2.1%以内

テーマ数： 69

方法： 電話調査

インタビュー形式： 回答者に関する設問を含む、特別に作成されたアンケートに基づくストラクチャードインタビュー。

なお、回答者に関する設問は回答者の性別、年齢、学歴、職業、月収、地域に関するものである。

主な結果

- ロシア人にとっての日本—先進技術と豊かな歴史・文化を持った国
- 世界経済の発展の分野において日本の役割は最も大きなもの
- 信頼できる国ランキングでは日本は第2位に位置
- ロシア人の3分の1は日本を重要な戦略的パートナーと評価。
- 露日関係は友好的であり、このステータスを維持することの重要性は最も高い。
- ロシア人は平和国家としての戦後の日本の歴史を肯定しており、全世界における平和の維持への安倍晋三総理大臣の貢献を指摘。
- 国連安保理の機能を知っていると回答者のうち半分以上が、日本は常任理事国になるべきと考えている。
- ロシア人は択捉、国後、色丹、歯舞の島々の帰属に関する双方の交渉及び立場につき、よく把握している。この難しい問題の解決は相互の合意に基づくべき。
- 半分以上のロシア人が国際ニュースを毎日フォローしている。市民にとっての主な情報源はテレビであり、日本に関するニュースを得る際もテレビが最も利用されている。

日本のイメージ

日本—それは先進技術と豊かな歴史・文化の国

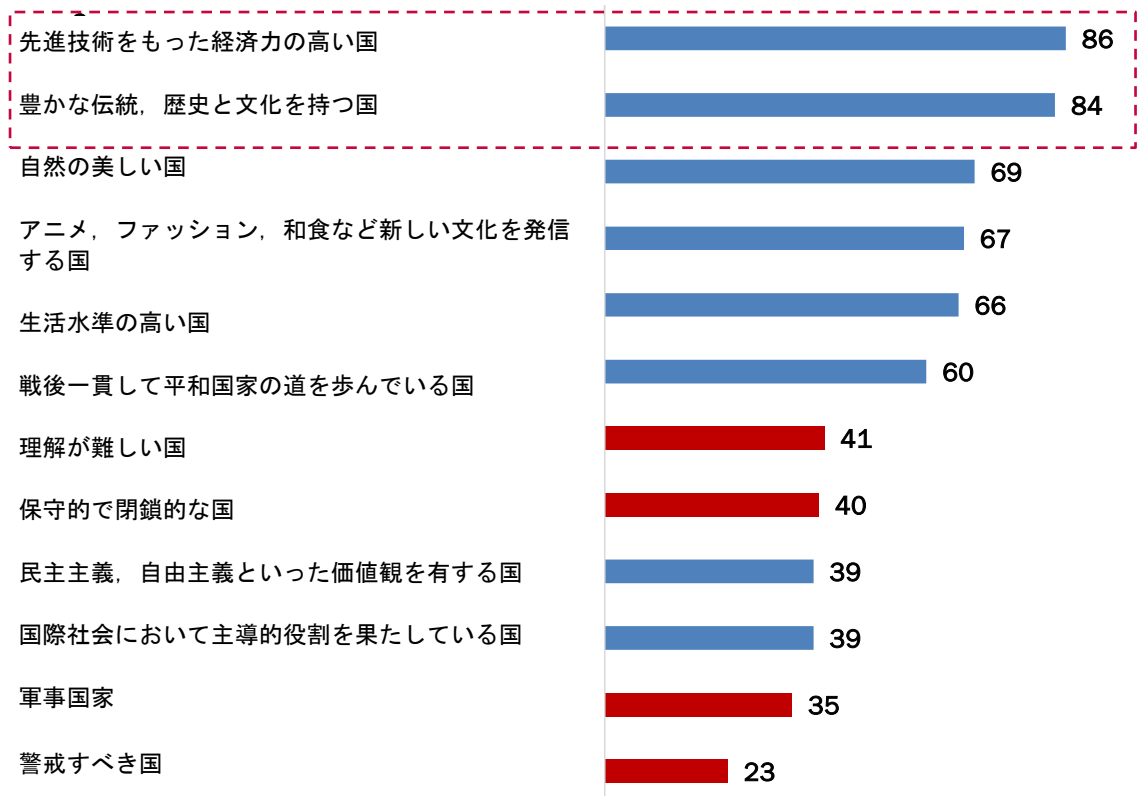
調査によって、大多数のロシア人にとって日本は、豊かな伝統と文化を有する経済的・技術的に発展した国である、ということが示された。回答者の84~86%が日本をこのように連想した。頻繁に選択された回答は、「美しい自然」(69%)、「アニメ、ファッションなど新しい文化を発信する国」(67%)、「高い生活水準」(66%)であった。

アンケート回答者のうち39%が日本を国際舞台におけるリーダー国であるとみており、また同じ数の回答者が日本は民主主義の原則を持った国であると評価していることを指摘する価値がある。

日本に関する否定的な連想はかなりまれであり、40%以下であった。回答者の約40%が日本を閉鎖的で理解困難な国、35%が軍事国家とした。回答者のうち4分の1(23%)が日本を警戒すべき国と回答した(図1)。

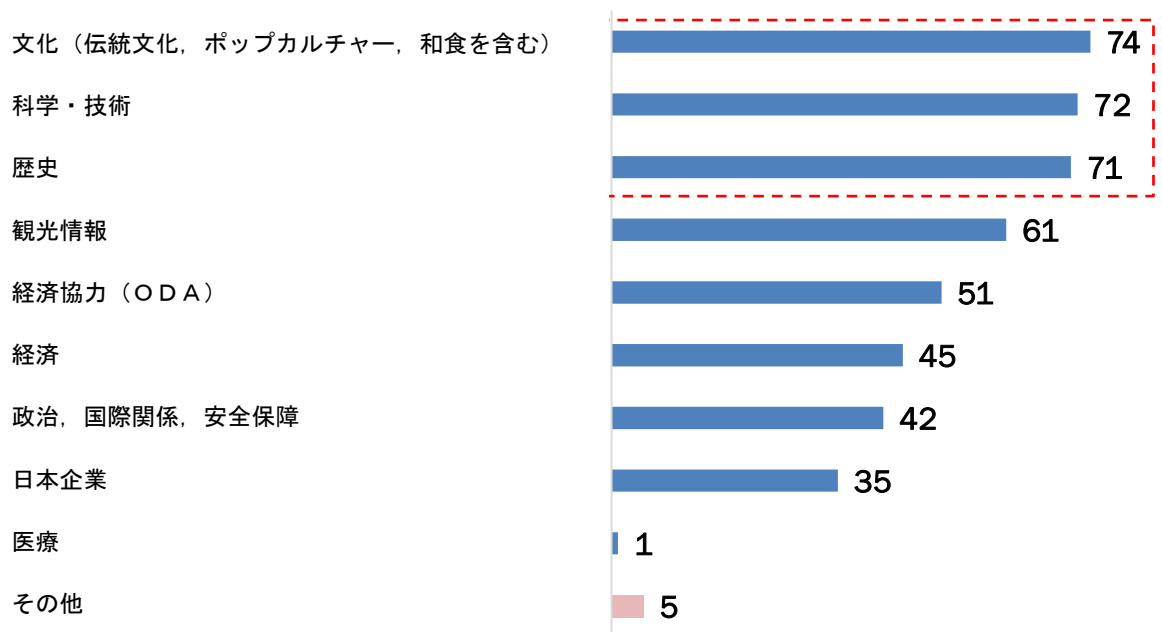
図1

あなたが、日本に対して抱いているイメージはどれですか。(%, 複数回答可)



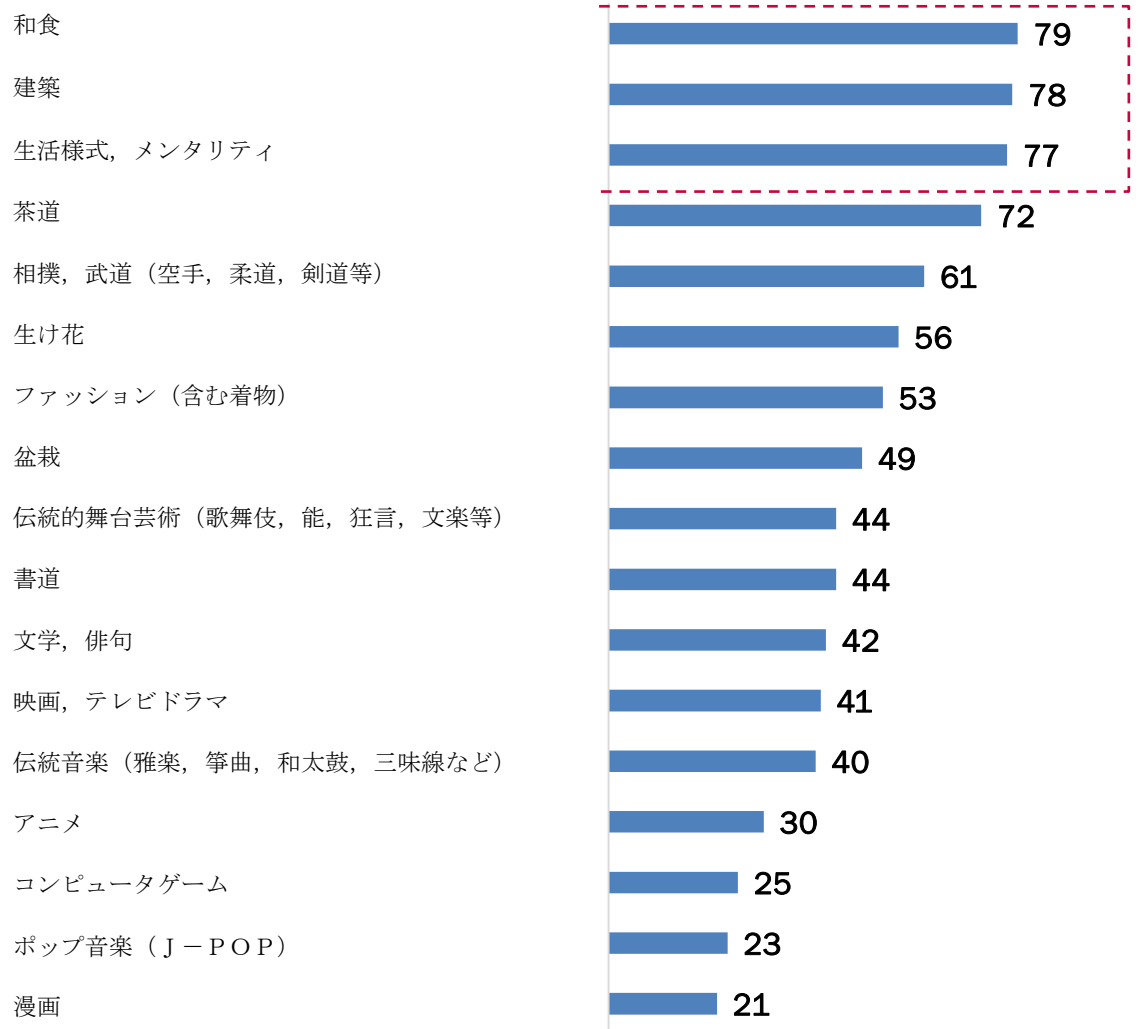
日本の何に最も関心があるかに関する回答の分析により、以下の結論が確認された。最も明らかに支配的なのは文化、技術及び歴史であった。ロシア人の多くは日本文化に興味を持っており、回答者の74%がこの点を指摘した。科学・技術を挙げた人は72%、同国の歴史に言及した人は71%の回答者であった。観光情報を求めているのは61%であり、日本企業の活動への関心が最も低く、わずか35%の回答者がより多くを知りたいとした（図2）。

図2
日本に関してもっと知りたいと思う分野は次のうちどれですか。（%、複数回答可）



文化分野でロシア人の大多数の関心を集めたのは和食（79%）、建築（78%）及び日本人の生活様式（77%）である。文化的特徴の中でも名前が挙げられたのは茶道（72%）、武道（61%）、生け花（56%）及び日本のファッション（53%）である。日本の現代文化に興味を示したのは、ロシア人の3分の1以下にとどまった。回答者の30%がアニメへの関心を指摘し、続いて日本のコンピュータゲーム（25%）、漫画（21%）となった（図3）。

図3
以下の日本文化のうち、どれに関心がありますか。（％，複数回答可）

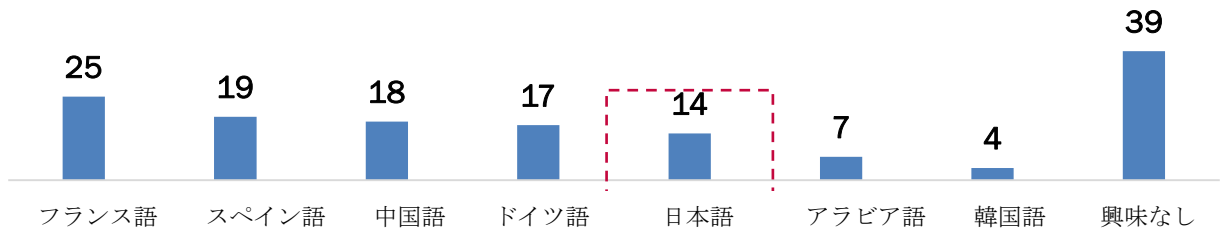


回答者のうち 14%が日本語を学びたいと回答した。潜在的な日本語学習者が最も多かった層は 18～24 歳の若者 (27%) であり、またサハリンの住民にも多かった (24%)。

外国語に関する 7つの選択肢のうち最も多く選ばれたのはフランス語 (25%)、スペイン語 (19%)、中国語 (18%)、ドイツ語 (17%) であった。

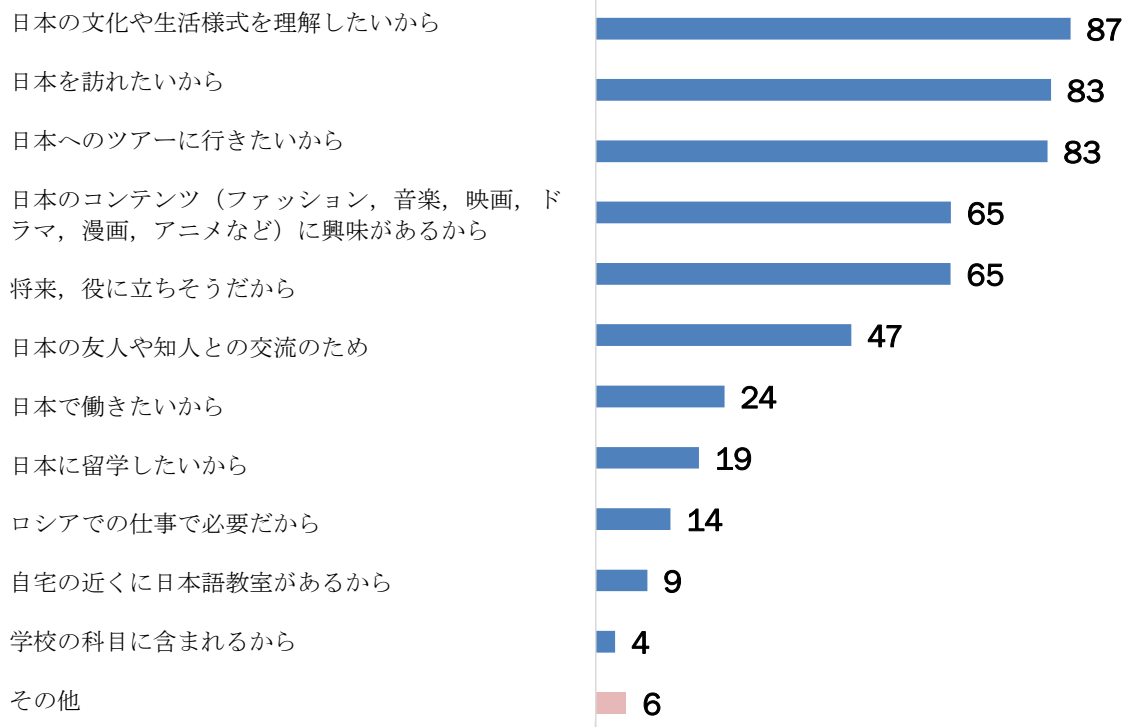
39%の回答者が言語に興味がないと回答した (図 4)。

図 4
次のどの言語の習得に関心がありますか。（％，複数回答可）



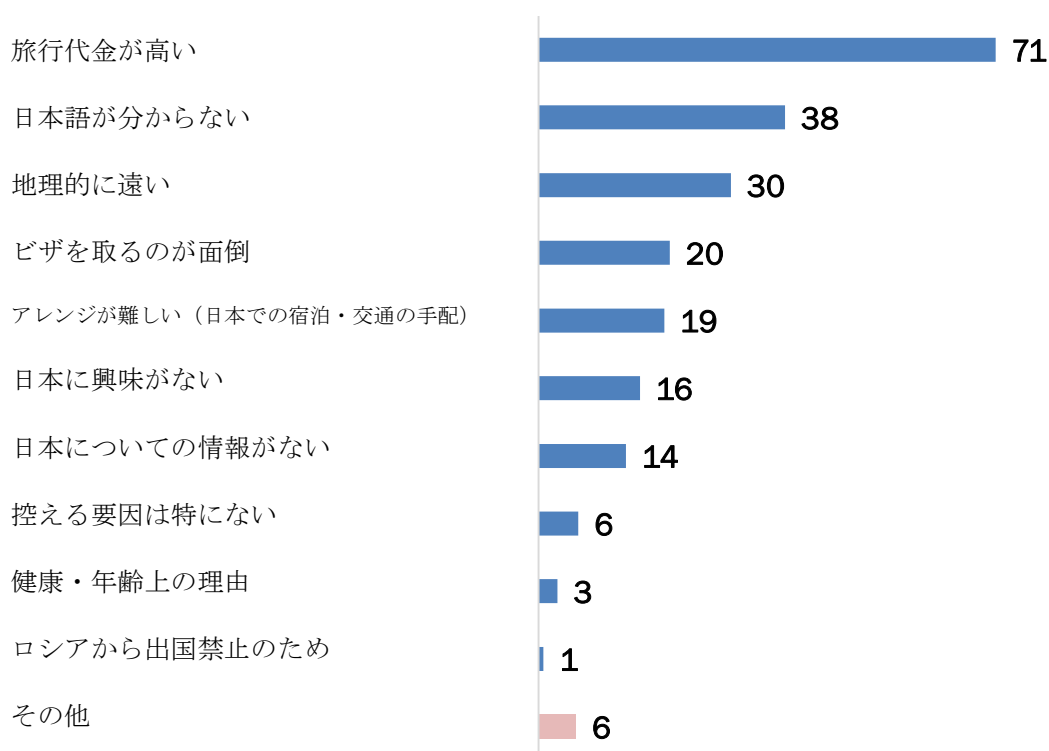
学習科目として日本語を選んだ動機に関する質問に対し、回答者の多くが学習プロセスの実用的な面に言及した。回答者の 87%が日本の文化や生活様式を理解したいことを理由に関心を示した他、83%が訪日に関心があり、同じく 83%がツアーに行くことに関心がある。また、アニメ、漫画、ドラマといった日本語でのコンテンツへの関心が日本語を選択するその他の重要な要因であった(65%)。回答者の3分の2が日本語が将来役に立つと考えている。回答者の約半分(47%)が友人との交流の際に日本語を使いたいと回答している。回答者の4分の1(24%)は日本で働くことを希望し、回答者の5分の1(19%)は日本での留学を計画している。回答者の14%はロシアで働くために日本語を学習することが必要であると回答している(図 5)。

図 5
日本語を選んだのはなぜですか。（％，日本語の習得に関心のある人のうち、複数回答可）



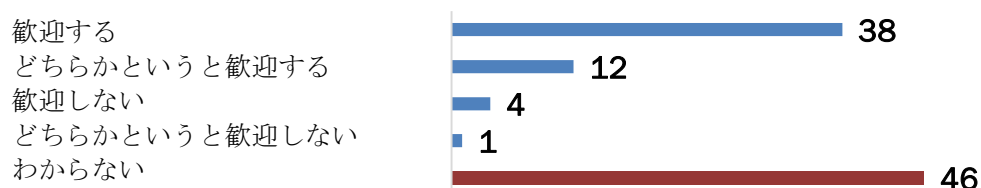
日本の観光面での魅力は明らかでありながらも、観光分野を発展させるためには阻害要因を考慮する必要がある。最大の障害は、旅行代金の高さであり、回答者の71%がこの点を指摘した。その他の障害として、日本語が分からないこと(38%)、地理的に遠いこと(30%)、ビザを取るのが面倒なこと(20%)が他よりも頻繁に挙げられた。(図6)

図6
あなた、又はあなたの親戚・友人が日本への観光旅行を控える要因は何ですか。
(%, 複数回答可)



調査の結果、回答者の半分(54%)がロシアにおける日本企業の活動を知っていることが明らかになった。そのうちの多く(50%)が日本企業の活動に対し好意的である。日本企業の活動を歓迎しなかったのは、回答者の5%のみであった。(図7)

図7
ロシアにおける日本企業の進出をどう思いますか。(%, 1つ選択)



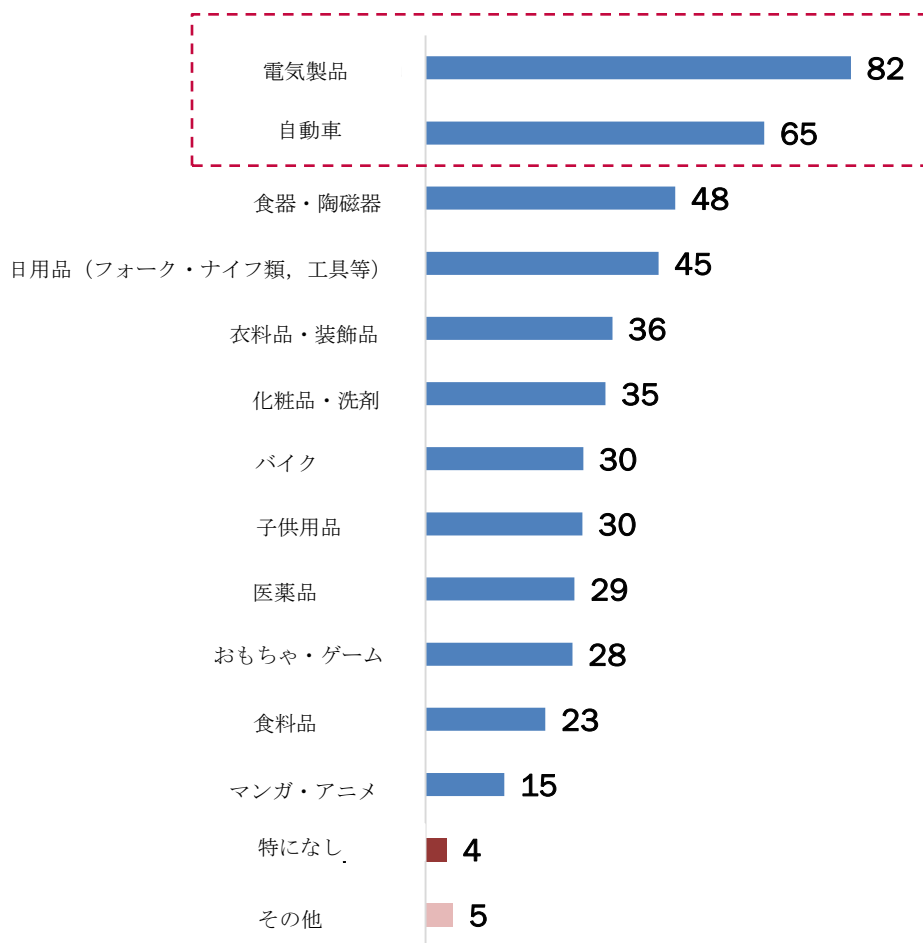
回答データの社会・人口的分析によれば、男性の方が日本企業の活動をより好意的に評価する傾向にある(61%、女性は40%)。また、肯定的な反応は成熟した35～59歳の回答者からより多く聞かれた(54～59%)。地理的には、サハリンの住民が日本企業の活動への支持を最も多く表明している(67%)。(表1)

表1
ロシアにおける日本企業の活動をどう思いますか。(%, 1つ選択)

	男性		女性		
歓迎する	47		30		
どちらかという歓迎する	14		10		
どちらかという歓迎しない	1		1		
歓迎しない	4		4		
分からない	34		55		
	18-24歳	25-34歳	35-44歳	45-59歳	60歳以上
歓迎する	26	32	46	42	37
どちらかという歓迎する	13	16	13	12	7
どちらかという歓迎しない	1	1	2	1	1
歓迎しない	7	5	1	4	3
分からない	53	46	38	42	52
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン
歓迎する	37	39	34	43	49
どちらかという歓迎する	11	12	12	11	18
どちらかという歓迎しない	0	1	1	2	3
歓迎しない	1	5	3	3	5
分からない	50	43	51	41	25

ロシア人の日本製品に対する関心はかなり高く、96%が何らかの製品に関心を持っている。日本製品のうちロシアの消費者に最も人気なのは、電気製品(82%)、自動車(65%)である。回答者の48%が食器・陶磁器を求めており、45%が日用品(フォーク・ナイフ類、工具等)を選択した。約3分の1が日本の化粧品、バイク、子供用品への関心を指摘している。(図8)

図 8
あなたが日常生活で最も使いたい日本製品は何ですか。（％，複数回答可）

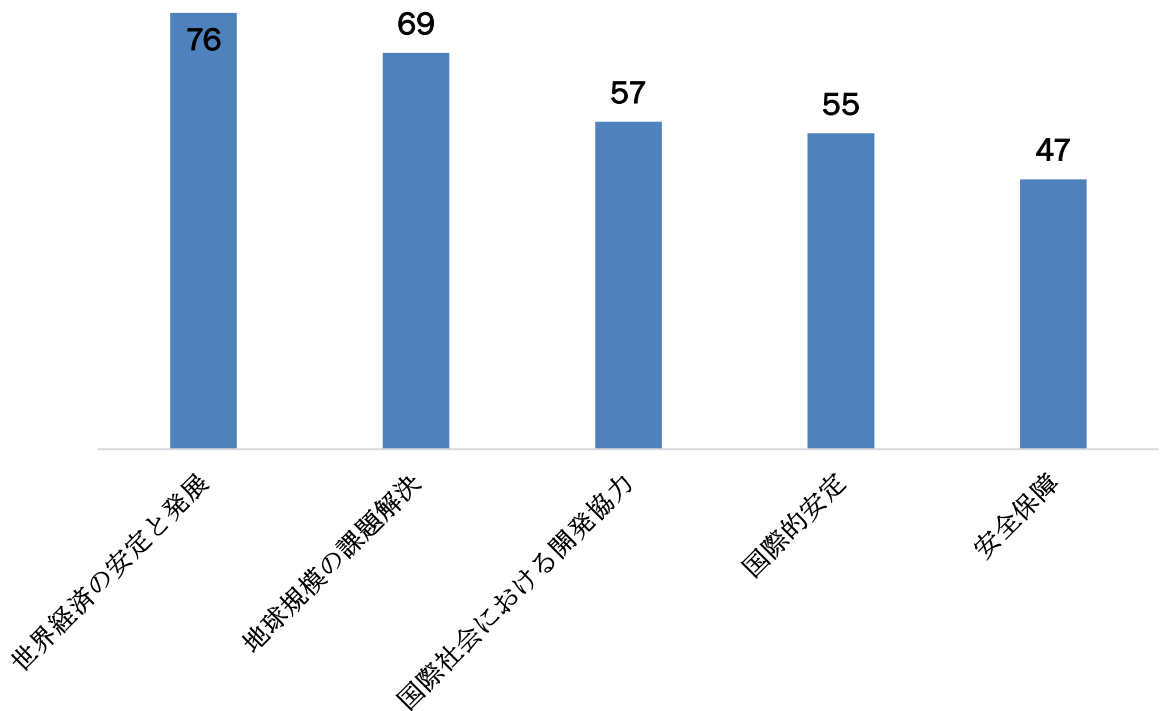


日本は世界経済の分野において最も大きな役割を果たしている

国際情勢における日本の役割に対するロシア人の認識を分析したところ、ロシア人にとって日本の重要性はかなり大きいことがわかった。多かれ少なかれ、日本は重要な貢献をしていると指摘するロシア人は半数以上いる。日本の大きな役割との最も確固たる結びつきは、世界経済の安定と発展の強化に関するものだった（76%）。地球規模の課題解決における貢献への言及はやや少ないが、それでもかなり多かった（69%）。国際社会における開発協力及び国際的安定に日本の大きな意義を与える人はそれぞれ 57%、55%だった。安全保障の分野における重要な役割を指摘する人は 47%であった（図 9）。相関的な分析により、日本は国際問題の解決において重要な役割を果たしているとする人は 18～25 歳の若者と女性に多かった。

図 9

日本は次に列挙されたそれぞれの分野においてどの程度重要な役割を果たしていると思いますか。（％，それぞれの分野につき非常に重要な，またはどちらかという重要な役割を果たしている」と回答した割合を表示）



日本の国際的安定の分野における大きな意義を指摘する人は若者(18～24歳)で70% (平均は55%)，女性で59% (男性が50%)，シベリア及びウラルの住民で57%。(表2)

図 10

日本は国際的安定の分野においてどの程度重要な役割を果たしていると思いますか。（％，1つ選択）

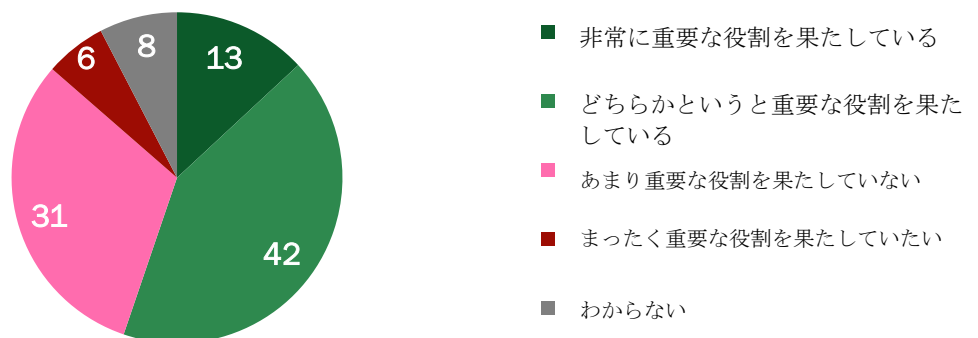


表 2
日本は国際的安定の分野においてどの程度重要な役割を果たしていると思いますか。（％， 1つ選択）

	男性		女性		
非常に重要な役割を果たしている	14		12		
どちらかという重要な役割を果たしている	36		47		
あまり重要な役割を果たしていない	36		27		
まったく重要な役割を果たしていない	9		4		
わからない	5		10		
	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
非常に重要な役割を果たしている	16	15	12	12	13
どちらかという重要な役割を果たしている	54	41	38	42	41
あまり重要な役割を果たしていない	25	33	35	33	28
まったく重要な役割を果たしていない	4	8	8	5	5
わからない	1	4	7	8	13
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン
非常に重要な役割を果たしている	11	13	14	13	14
どちらかという重要な役割を果たしている	39	43	43	40	40
あまり重要な役割を果たしていない	30	32	30	33	33
まったく重要な役割を果たしていない	7	6	6	7	7
わからない	13	6	8	7	6

安全保障の分野における大きな役割を挙げる人は女性に多く（52%， 男性は 41%）， 24 歳までの若者が 57%と多い。（表 3）

図 11
日本は安全保障の分野においてどの程度重要な役割を果たしていると思いますか。（％， 1つ選択）

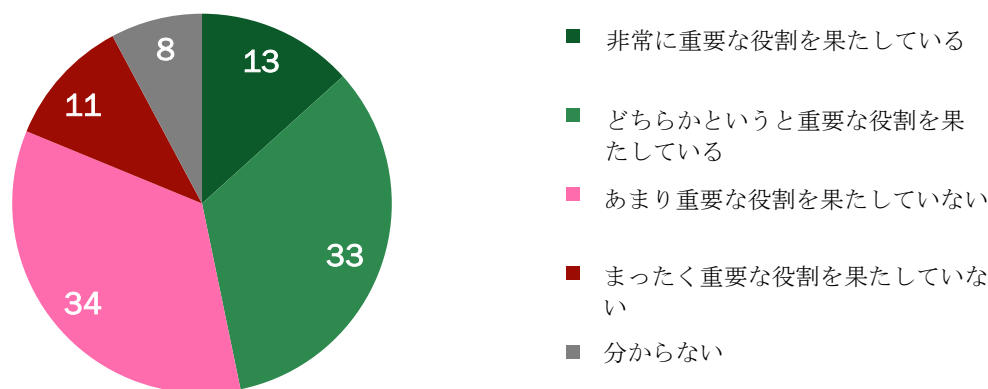


表 3
日本は安全保障の分野においてどの程度重要な役割を果たしていると思いますか。
(%, 1つ選択)

	男性		女性		
非常に重要な役割を果たしている	13		14		
どちらかという重要な役割を果たしている	28		38		
あまり重要な役割を果たしていない	40		30		
まったく重要な役割を果たしていない	16		7		
わからない	4		11		
	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
非常に重要な役割を果たしている	19	11	12	15	12
どちらかという重要な役割を果たしている	38	32	33	35	31
あまり重要な役割を果たしていない	34	38	35	32	34
まったく重要な役割を果たしていない	6	12	14	10	11
わからない	3	7	6	8	12
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン
非常に重要な役割を果たしている	10	14	13	14	14
どちらかという重要な役割を果たしている	30	35	33	28	30
あまり重要な役割を果たしていない	34	35	35	36	38
まったく重要な役割を果たしていない	14	9	12	11	11
わからない	13	6	7	11	7

ロシア人の評価によると、日本は世界経済の安定と発展の維持において最も重要な役割を果たしていると考えており、男女を問わず、76%がこのように回答した。また、各地域の住民の評価もほぼ同じであり、モスクワ州でもサハリン州でも日本が経済を安定させる役割を果たしていると感じている人の割合が同じである（74%）。（表 4）

図 12
日本は世界経済の安定と発展の分野においてどの程度重要な役割を果たしていると思いますか。（%, 1つ選択）

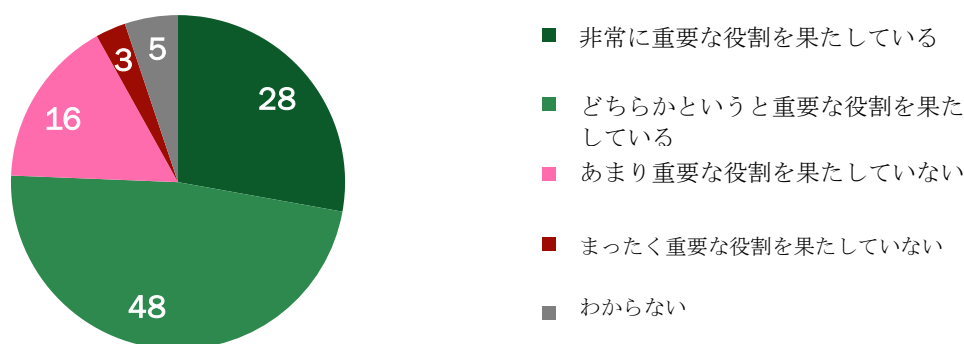


表 4
日本は世界経済の安定と発展の分野においてどの程度重要な役割を果たしている
と思いますか。（％， 1つ選択）

	男性		女性		
非常に重要な役割を果たしている	27		29		
どちらかという重要な役割を果たしている	49		47		
あまり重要な役割を果たしていない	17		16		
まったく重要な役割を果たしていない	4		2		
わからない	3		7		
	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
非常に重要な役割を果たしている	36	24	28	29	25
どちらかという重要な役割を果たしている	48	49	46	47	49
あまり重要な役割を果たしていない	13	20	17	16	15
まったく重要な役割を果たしていない	2	3	5	3	2
わからない	1	5	3	4	10
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン州
非常に重要な役割を果たしている	27	29	27	26	32
どちらかという重要な役割を果たしている	47	47	50	48	42
あまり重要な役割を果たしていない	12	17	17	17	19
まったく重要な役割を果たしていない	5	2	3	3	3
わからない	9	4	4	7	4

国際社会での開発協力の分野における日本の重要な役割を指摘する人は、 24 歳までの若者（70%）， 女性（60%）に多い。また， シベリアとウラルの住民にも多い（62%）。（表 5）

図 13
日本は国際社会における開発協力の分野においてどの程度重要な役割を果たしている
と思いますか。（％， 1つ選択）

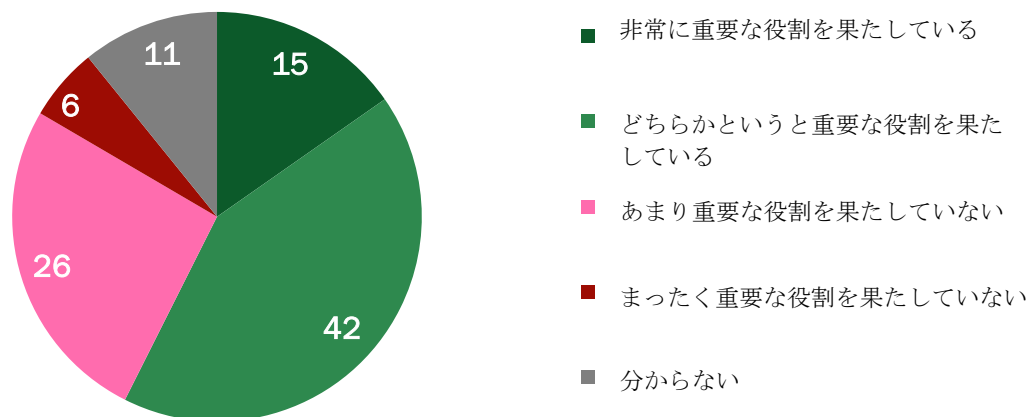


表 5
日本は国際社会における開発協力の分野においてどの程度重要な役割を果たしていると思いますか。（％， 1つ選択）

	男性		女性		
非常に重要な役割を果たしている	12		18		
どちらかという重要な役割を果たしている	42		42		
あまり重要な役割を果たしていない	31		22		
まったく重要な役割を果たしていない	8		4		
わからない	7		14		
	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
非常に重要な役割を果たしている	25	13	17	15	12
どちらかという重要な役割を果たしている	45	47	41	39	40
あまり重要な役割を果たしていない	22	26	26	28	25
まったく重要な役割を果たしていない	3	6	8	5	5
わからない	4	7	8	12	17
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン
非常に重要な役割を果たしている	13	15	17	13	15
どちらかという重要な役割を果たしている	40	41	45	42	40
あまり重要な役割を果たしていない	20	27	28	26	30
まったく重要な役割を果たしていない	8	6	4	6	5
わからない	17	11	6	13	10

地球規模の課題解決の分野での日本の貢献を挙げる人は、18～24歳の若者に多い（78%）。その他の社会・人口的グループでは大きな差は見られない（表 6）。

図 14
日本は地球規模の課題解決においてどの程度重要な役割を果たしていると思いますか。（％， 1つ選択）

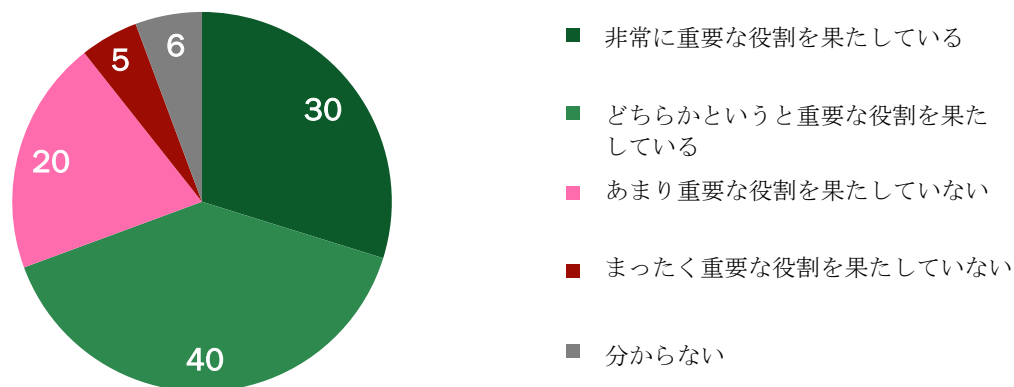


表 6

日本は地球規模の課題解決においてどの程度重要な役割を果たしていると思いますか。（％， 1つ選択）

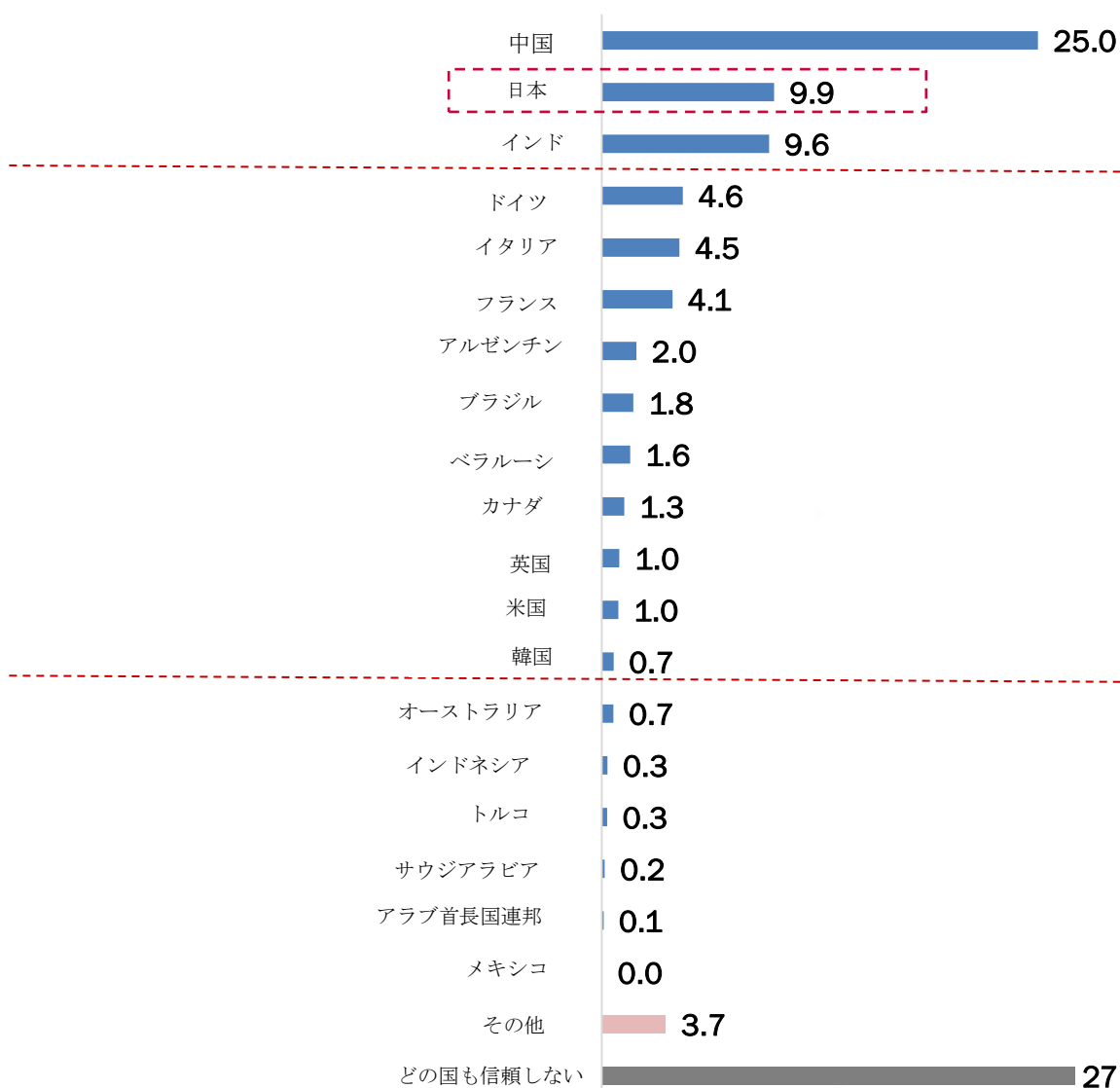
	男性		女性		
非常に重要な役割を果たしている	28		31		
どちらかという重要な役割を果たしている	39		40		
あまり重要な役割を果たしていない	22		18		
まったく重要な役割を果たしていない	6		4		
わからない	4		7		
	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
非常に重要な役割を果たしている	41	24	27	32	30
どちらかという重要な役割を果たしている	37	42	41	39	39
あまり重要な役割を果たしていない	16	25	22	20	16
まったく重要な役割を果たしていない	6	5	5	5	5
わからない	0	5	4	5	10
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン州
非常に重要な役割を果たしている	31	29	30	32	31
どちらかという重要な役割を果たしている	36	41	40	38	37
あまり重要な役割を果たしていない	17	20	23	17	22
まったく重要な役割を果たしていない	6	5	4	6	5
わからない	10	5	4	8	5

日露関係の評価

信頼できる国ランキングでは日本は第2位に位置

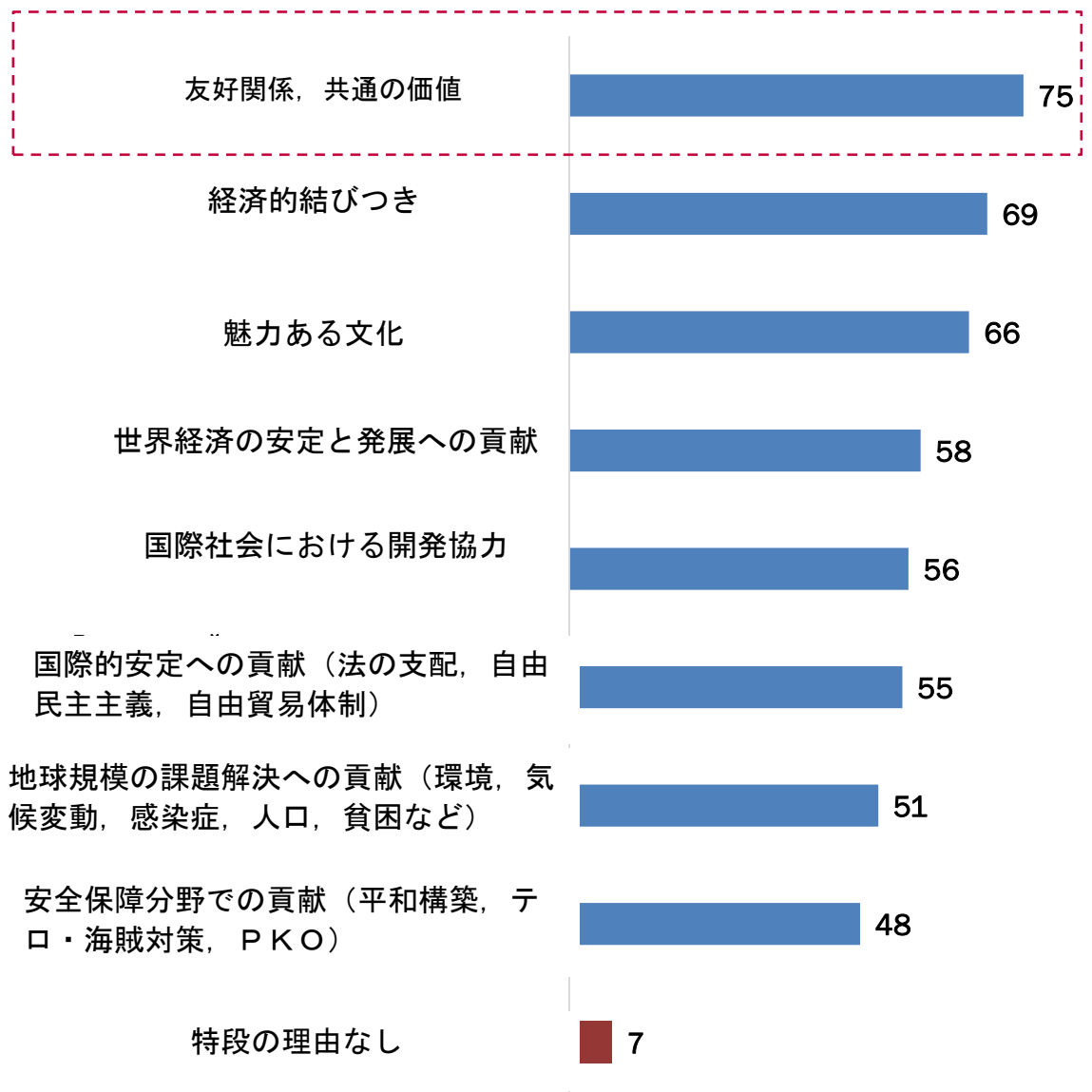
回答者には国のリストが示され、最も信頼感をひきおこす国を1つ選ぶよう提案された。日本を信頼していると答えた人は10人に1人おり(9,9%)、国別ランキングでは中国(25%)に次いで第2位。第3位はインド(9,6%)が占めている。4分の1以上(27%)の人はいずれの国も信頼しないと答えた。(図15)

図15
次に列挙された国のうち、最も信頼できる国はどの国ですか。(%, 一つ選択)



国のリストから日本以外を選択したロシア国民の主な論拠は、友好関係と共通の価値観の存在だった(75%)。その他の重要な要因は、経済的結びつきであり(69%)、これが中国が上位を占めた原因かもしれない。66%が「魅力ある文化」を理由とした。7%が特段の理由なしと回答した(図 16)。

図 16
なぜその国を信頼できると思いますか。(%, 前の問で日本以外を選択した人のうち、複数回答可)

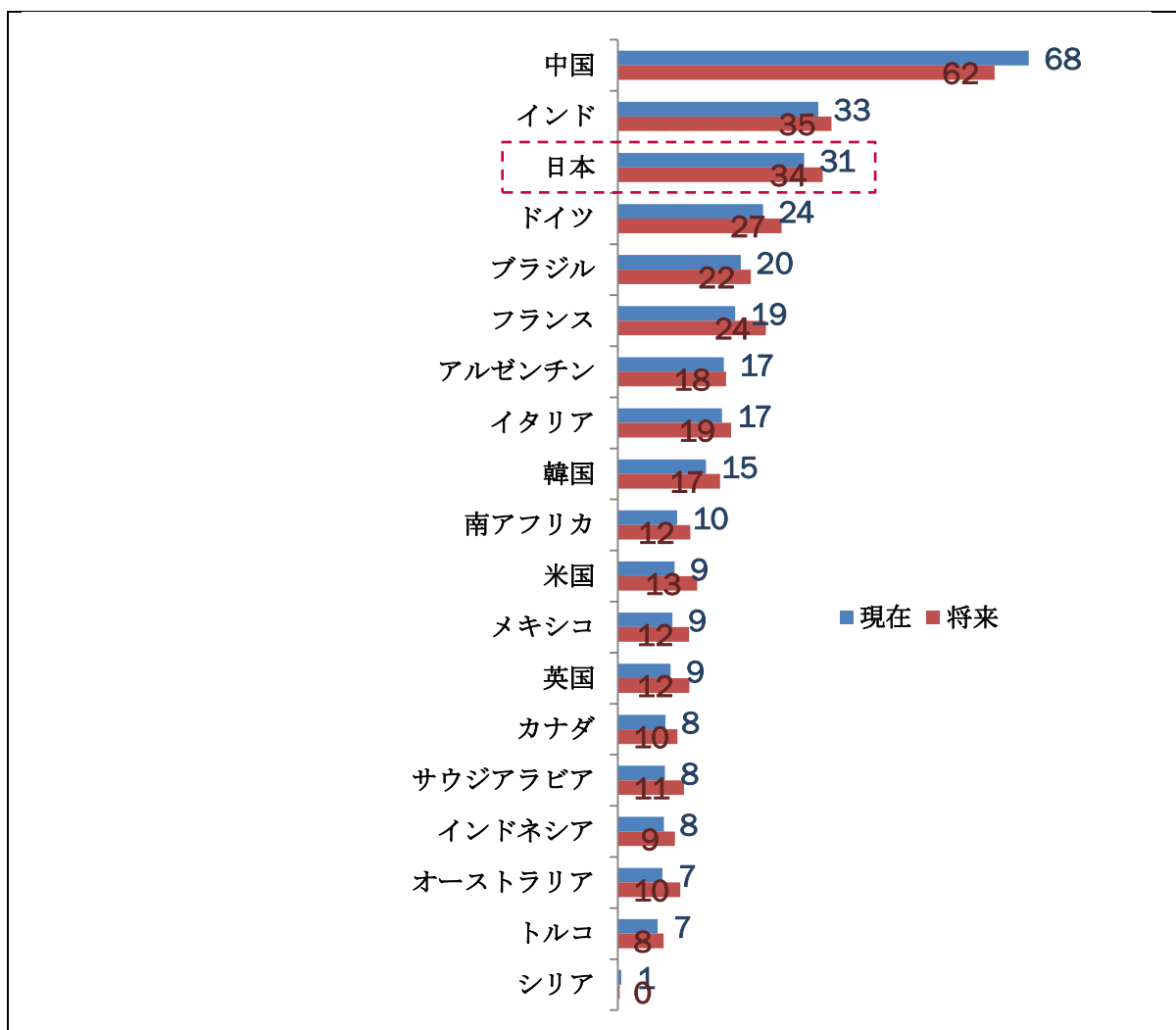


ロシア人の3分の1は日本を重要な戦略的パートナーと評価

回答者には2つの国のリストが示され、ロシアにとって現在及び将来の重要なパートナー国を選ぶよう提案された。1つ目のリストでは日本は中国、インドに続いて3番目に位置している。3分の1のロシア人は日本をロシアの重要なパートナーとみなしており、ほぼ同じ割合のロシア人がロシアにとって日本が果たす役割は今後大きくなると考えている(図17)。

図 17

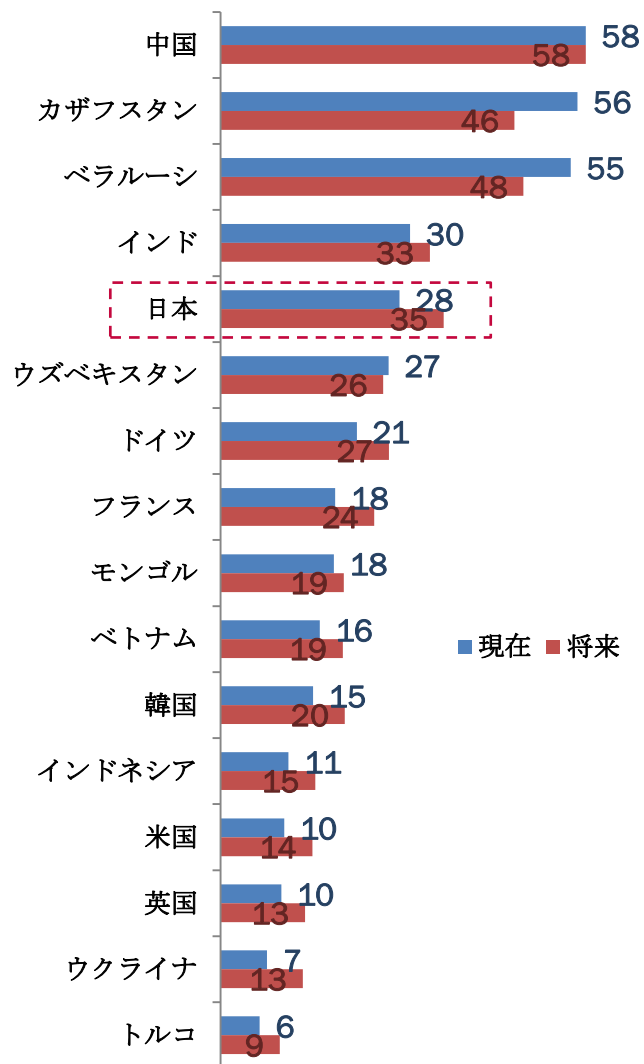
ロシアにとって、現在重要なパートナーは次に列挙されたうちのどの国ですか。ロシアにとって、将来重要なパートナーとなるのは次に列挙されたうちのどの国ですか。(%, 複数回答可)



2つ目のリストでは日本は、中国、カザフスタン、ベラルーシ、及びインドに次ぐ5番目に位置している。また、回答者の約3分の1が日本は現在も将来も重要なパートナーであると考えている(図 18)。

図 18

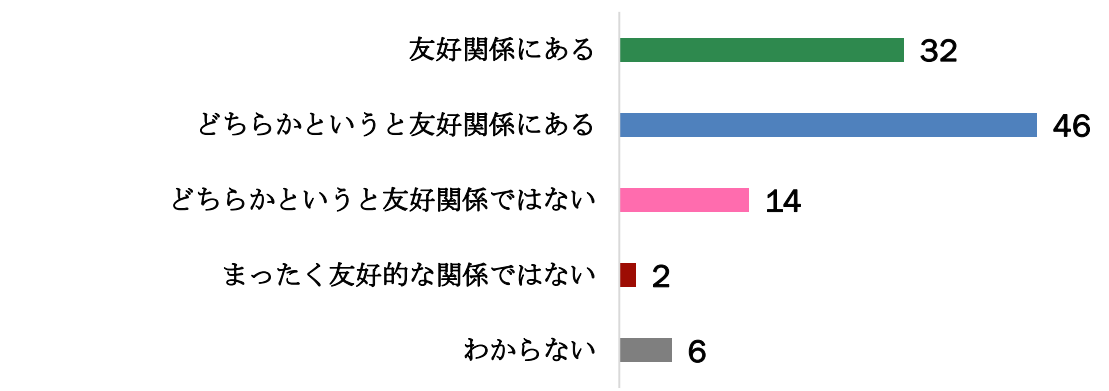
ロシアにとって、現在重要なパートナーは次に列挙されたうちのどの国ですか。
ロシアにとって、将来重要なパートナーとなるのは次に列挙されたうちのどの国ですか。(%, 複数回答可)



二国間関係は友好的であり、このステータスを維持することの重要性は最も高い

本件調査の結果、大多数のロシア人(78%)は露日関係を友好的と評価していることが明らかになった。全く逆の評価をする者は回答者の16%以下であった(図19)。

図19 ロシアと日本の現在の関係をどのように性格づけますか。(%, 1つ選択)



女性の方が、露日関係についてより肯定的な評価を与える傾向にある(81%, 男性は74%)。また、18~24歳の人に両国関係を友好的と回答する者が多かった(82%)。

表7 ロシアと日本の現在の関係をどのように性格づけますか。(%, 1つ選択)

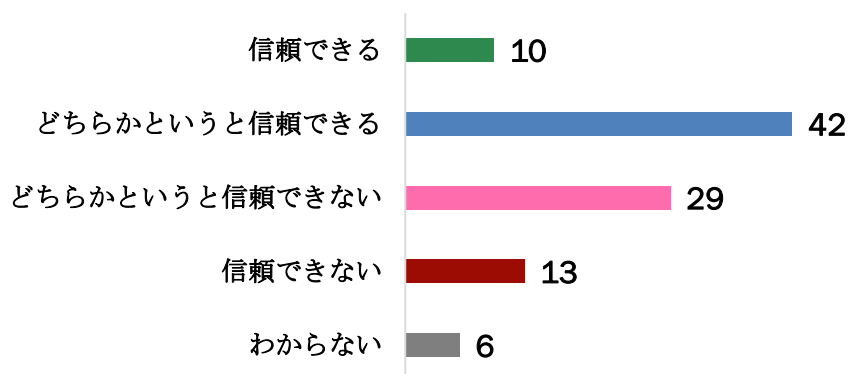
	男性			女性	
	18-24歳	25-34歳	35-44歳	45-59歳	60歳以上
友好関係にある	31	31	31	32	32
どちらかというとも友好関係にある	43	43	43	49	49
どちらかというとも友好関係ではない	19	19	19	11	11
まったく友好的な関係ではない	2	2	2	2	2
わからない	5	5	5	7	7
	18-24歳	25-34歳	35-44歳	45-59歳	60歳以上
友好関係にある	39	28	30	31	33
どちらかというとも友好関係にある	43	46	46	49	45
どちらかというとも友好関係ではない	11	13	19	14	14
まったく友好的な関係ではない	2	3	2	1	1
わからない	4	10	2	5	7

	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン
友好関係にある	23	33	35	30	31
どちらかというとも友好関係にある	46	47	46	48	46
どちらかというとも友好関係ではない	19	14	13	15	17
まったく友好的な関係ではない	4	2	1	1	1
わからない	9	5	5	7	5

回答者の半数は、ロシアは多かれ少なかれ日本を友好国として信頼できる（52%）と考えており、回答者の29%が日本をどちらかというとも信頼できないとし、13%が全く信頼できないと指摘した（図20）。

図20

ロシアは、日本を友好国として信頼できると思いますか。（％、1つ選択）



日本への信頼に関する質問への回答の観点から回答者の社会的特徴を分析した結果、24歳までの若者は、日本を信頼できるという立場を取る傾向がある（71%）。逆に60歳以上の回答者は広汎な歴史的記憶により逆の立場をとる傾向が見られた（47%が日本を信頼することはできないと考えている）。ウラルとシベリアの住民は他の地域よりも信頼の問題について肯定的な回答をする人が多かった（55%）。（表8）

表8

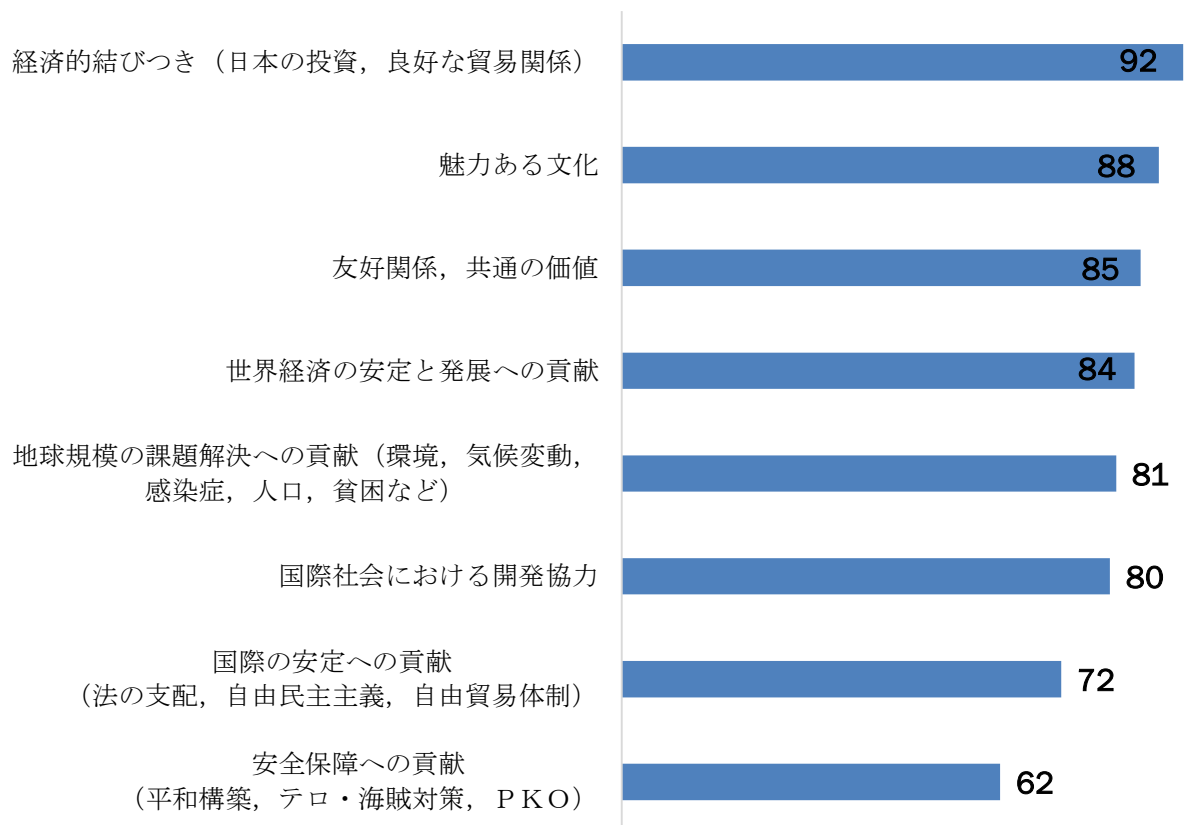
ロシアは、日本を友好国として信頼できると思いますか。（％、1つ選択）

	男性	女性
信頼できる	11	9
どちらかというとも信頼できる	40	44
どちらかというとも信頼できない	30	28
信頼できない	15	11
わからない	4	8

	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
信頼できる	16	9	9	7	11
どちらかという信頼できる	55	45	42	42	35
どちらかという信頼できない	19	28	31	30	32
信頼できない	6	14	12	14	15
わからない	3	5	7	7	7
	モスク ワ市及 びモス クワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシ ベリア	極東連邦 管区	サハリン
信頼できる	9	9	10	9	7
どちらかという信頼できる	37	43	45	39	38
どちらかという信頼できない	29	30	27	33	36
信頼できない	17	12	12	13	13
わからない	8	5	6	5	6

日本を完全に信頼できると考えている回答者はその論拠として、経済的結びつき（92%）、魅力ある文化（88%）を挙げた。また、回答者は友好関係（85%）と世界経済の発展への日本の貢献（84%）を理由にロシアは日本を信頼できるとした（図 21）。

図 21
なぜ信頼できると思いますか。（%、ロシアは日本を信頼できるとした人のうち、複数回答可）



ロシアにとって日本との友好的な関係の重要性は疑いの余地のないものとなっている。絶対的多数（97%）がロシアにとって日本との友好的な関係は多かれ少なかれ重要であると指摘している（図 22）。

様々な社会・人口的グループの回答者がいずれもこの質問では一致していた点は指摘に値する。

図 22
ロシアにとって、日本との友好関係は重要と考えますか。（％， 1つ選択）

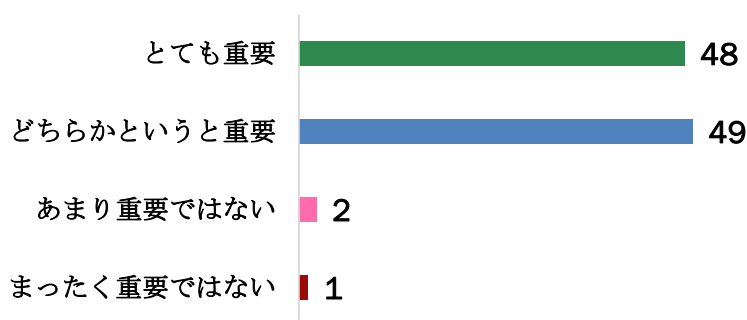


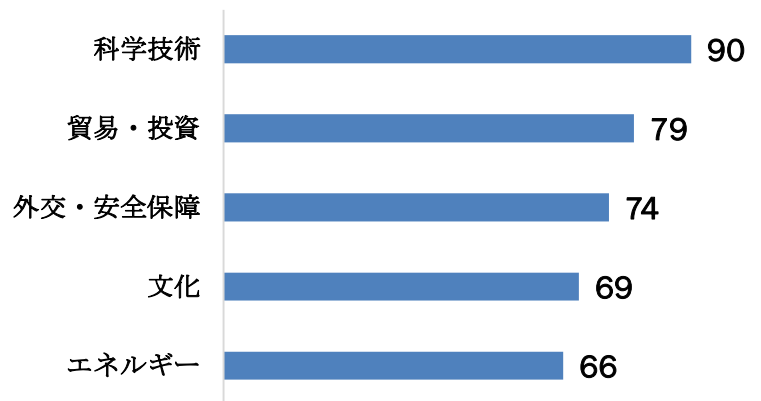
表 9
ロシアにとって、日本との友好関係は重要と考えますか。（％， 1つ選択）

	男性		女性		
とても重要	44		52		
どちらかという重要	52		46		
あまり重要ではない	3		1		
まったく重要ではない	1		1		
	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
とても重要	41	41	42	54	50
どちらかという重要	53	53	52	44	49
あまり重要ではない	2	2	4	2	1
まったく重要ではない	4	3	1	0	0
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン
とても重要	52	45	47	53	47
どちらかという重要	44	52	48	45	49
あまり重要ではない	1	2	4	2	3
まったく重要ではない	3	0	1	0	1

二国間協力の強化はとりわけ科学技術(90%)及び経済(貿易・投資)(79%)分野で必要である。回答者の4分の3は外交及び安全保障分野での協力発展の重要性を指摘した(74%)。69%の回答者は文化分野, 66%がエネルギー分野を指摘した(図23)。

図 23

どの分野で日露間の協力を強化することが必要ですか。(%, 複数回答可)



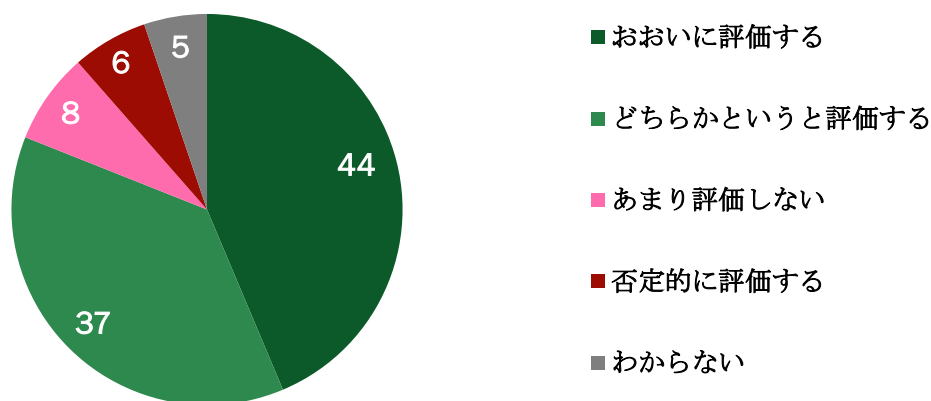
露日の歴史の歩みと二国間関係への影響

ロシア人は平和国家としての戦後の日本の歴史を肯定しており、全世界の平和の維持への安倍晋三総理大臣の貢献を指摘している。

概して、ロシア人は日本の戦後の歴史を肯定的に評価している。81%がそのように評価しており（44%が「おおいに評価する」、37%が「どちらかという」と評価する）、回答者の8%が「あまり評価しない」、6%が「否定的に評価する」という立場をとった（図24）。

図24

平和国家としての日本の戦後の歴史をどう評価しますか。（％、1つ選択）



18～24歳の若者は肯定的な評価をする傾向がある（85%、年金受給者は77%）。また、ロシアは日本を信頼できるとした回答者は、日本の戦後の歴史についてもより肯定的に回答する傾向が見られた（90%）。

表10

平和国家としての日本の戦後の歴史をどう評価しますか。（％、1つ選択）

	男性	女性
おおいに評価する	46	42
どちらかという」と評価する	35	39
あまり評価しない	9	6
否定的に評価する	7	5
わからない	2	8

	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
おおいに評価する	43	43	44	47	41
どちらかという人评价する	42	39	38	35	36
あまり評価しない	8	7	9	7	7
否定的に評価する	5	6	4	7	8
わからない	2	5	5	4	7
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン
おおいに評価する	39	43	47	48	40
どちらかという人评价する	36	39	36	34	35
あまり評価しない	8	8	7	7	11
否定的に評価する	6	7	5	6	9
わからない	12	4	4	5	5
	ロシアは日本を信頼できる		ロシアは日本を信頼できない		
おおいに評価する	52		34		
どちらかという人评价する	38		38		
あまり評価しない	4		12		
否定的に評価する	3		10		
わからない	3		6		

4分の3以上の回答者(76%)は国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の立場をとる安倍晋三総理大臣の活動を国際的安定の強化に資するとしている。ロシア人の18%のみがこの立場を支持していない。日本の首相の立場を最も支持しているのは60歳以上の回答者、女性、そしてウラル及びシベリア地域の住民であった。(図25、表11)

図25

安倍総理大臣は、国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の立場から、地域及び国際社会の平和と安定にこれまで以上に積極的に貢献していく意思を明らかにしていますが、こうした外交姿勢は世界の平和維持や国際的安定に役立つと思いますか。(%, 1つ選択)

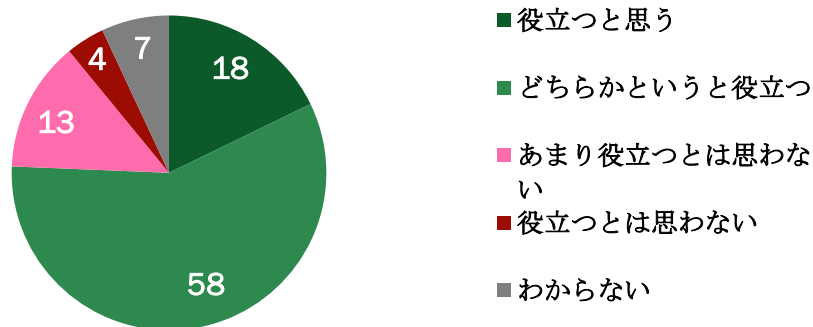


表 11

安倍総理大臣は、国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の立場から、地域及び国際社会の平和と安定にこれまで以上に積極的に貢献していく意思を明らかにしていますが、こうした外交姿勢は世界の平和維持や国際的安定に役立つと思いますか。（％， 1つ選択）

	男性			女性	
役立つと思う	18			18	
どちらかという役立つ	55			61	
あまり役立つとは思わない	18			10	
役立つとは思わない	6			3	
わからない	4			8	
	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
役立つと思う	9	11	16	22	25
どちらかという役立つ	65	57	54	59	58
あまり役立つとは思わない	20	18	19	10	7
役立つとは思わない	5	7	4	3	3
わからない	2	7	7	7	7
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン
役立つと思う	20	17	18	20	17
どちらかという役立つ	50	60	60	57	58
あまり役立つとは思わない	14	13	13	15	16
役立つとは思わない	5	4	4	3	4
わからない	10	6	5	5	5

国連安保理の機能を知っているとした回答者のうち半分以上が、日本は常任理事国となるべきと考えている。

国連安保理の機能について知っているのはロシア国民の 40%。男性が多く（49%、女性は 32%）、45～59 歳の回答者（46%）及びモスクワ市・モスクワ州の住民（50%）が多かった。60%の回答者が国連安保理の機能を知らなかった（図 26）。

図 26

国連安保理の機能を知っていますか。（％， 1つ選択）

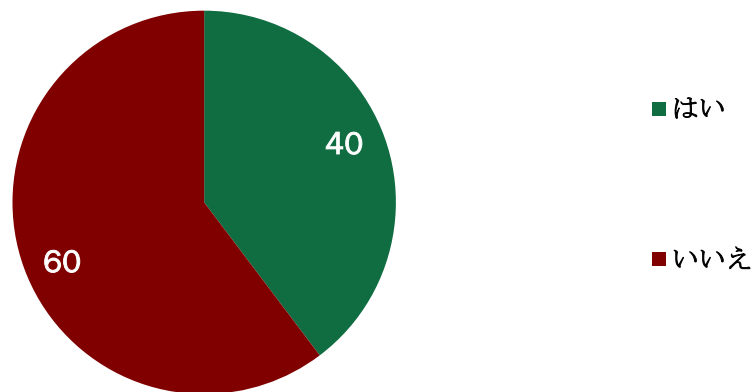


表 12 国連安保理の機能を知っていますか。（％， 1つ選択）

	男性			女性	
はい	49			32	
いいえ	51			68	
	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
はい	33	32	39	46	44
いいえ	67	68	61	54	56
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン州
はい	50	38	38	39	37
いいえ	50	62	62	61	63

国連安保理の機能を知っている回答者の 58%は日本は常任理事国になるべきであると考えている。より高い年齢層 (64%)，女性 (66%)，ロシア欧州部住民 (60%) は日本の安保理の理事国入りを支持する傾向にある。（図 27，表 13）

図 27

日本が国連安保理の常任理事国となるべきだと思いますか。
 (%、国連安保理の機能を知っている人のうち、1つ選択)

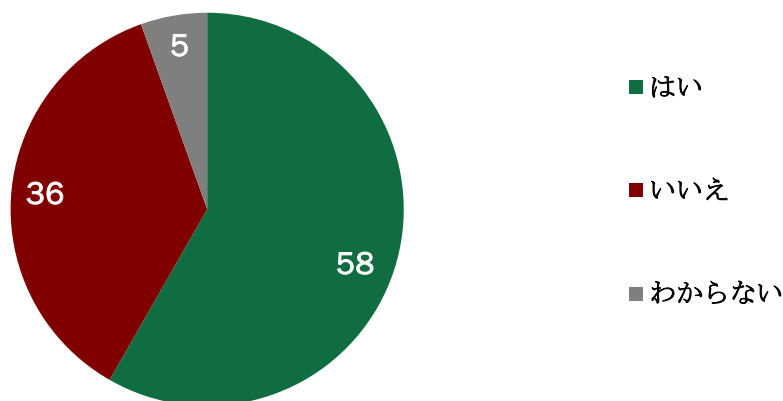


表 13

日本が国連安保理の常任理事国となるべきだと思いますか。
 (%、国連安保理の機能を知っている人のうち、1つ選択)

	男性			女性	
はい	53			66	
いいえ	44			27	
わからない	3			7	
	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
はい	59	53	55	57	64
いいえ	40	43	37	36	31
わからない	1	4	8	7	4
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン
はい	59	60	56	54	54
いいえ	34	35	40	38	42
わからない	7	6	4	8	4

回答者の3分の2 (64%) はこれまでロシアと日本の間に平和条約が結ばれていないことを知らなかった。知っていたのはロシア人の3分の1超 (36%) であった。より知っていたのは男性 (50%, 女性は 25%), サハリンの住民 (57%) 及び 60 歳以上の回答者 (57%) であった。(図 28, 表 14)

図 28

第二次世界大戦後半世紀以上経た今も、日露間に平和条約が結ばれていない事を知っていますか。(%, 1つ選択)

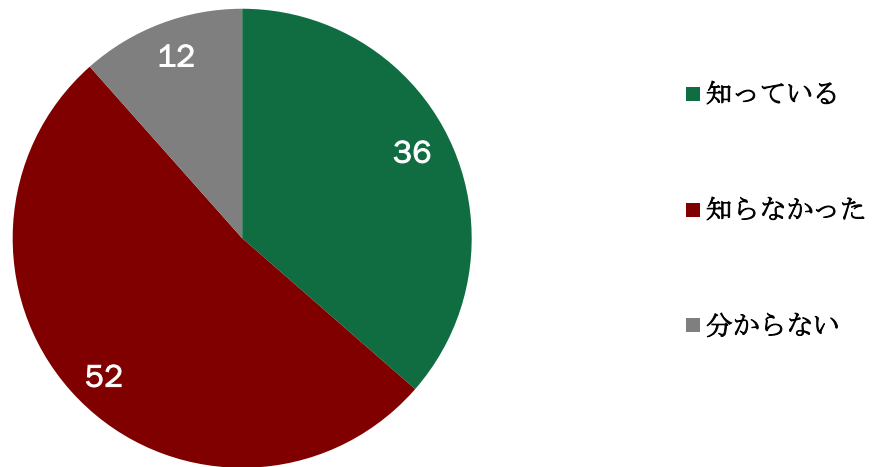


表 14

第二次世界大戦後半世紀以上経た今も、日露間に平和条約が結ばれていない事を知っていますか。(%, 1つ選択)

	男性			女性	
知っている	50			25	
知らなかった	41			61	
分からない	9			14	
	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
知っている	36	28	34	38	44
知らなかった	51	63	55	51	43
分からない	13	9	11	11	14
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン
知っている	45	34	34	45	57
知らなかった	47	56	49	45	38
分からない	8	10	18	10	5

将来日本から軍事的脅威が生じる可能性は高くない

37%のロシア人が日本は将来ロシアにとって軍事的脅威をもたらすと考えているが、多数(58%)はそのような脅威を感じていない。日本を脅威と考える傾向にあるのは34歳までの若い回答者(44%)及びサハリンの住民である(45%)。ロシア欧州部の住民(61%)及び45歳以上の回答者(61%)は脅威とみなしていない。(図29, 表15)

図29
日本はロシアにとって軍事的脅威だと思いますか。(%, 1つ選択)

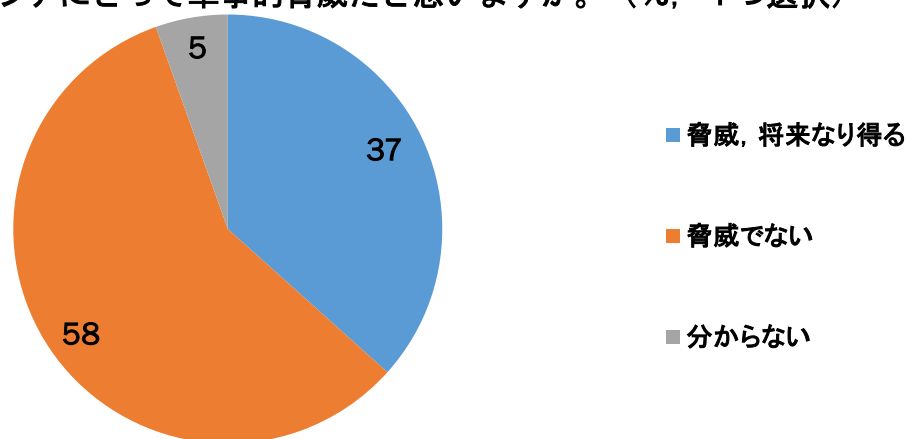


表15
日本はロシアにとって軍事的脅威だと思いますか。(%, 1つ選択)

	男性		女性		
	18-24歳	25-34歳	35-44歳	45-59歳	60歳以上
脅威, 将来なり得る	34	44	40	32	30
脅威でない	64	53	56	61	61
分からない	3	3	4	7	9
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン
脅威, 将来なり得る	34	34	42	42	45
脅威でない	57	61	54	53	48
分からない	9	5	4	5	6

ロシア人は択捉、国後、色丹、歯舞の島々の帰属に関する双方の交渉及び立場につき、よく把握している。この簡単ではない問題の解決は相互の合意に基づくべきである。

半分以上のロシア人は択捉、国後、色丹、歯舞の島々の帰属に関する交渉について把握している。57%がそのことを知っているとした(図 30)。

より知っていたのは男性(67%)、高年齢層(72%)、極東(79%)及びサハリン(86%)の住民である。(表 16)

図 30

日露間で、択捉、国後、色丹、歯舞の島々の帰属に関する交渉が行われていることを知っていますか。(%, 1つ選択)

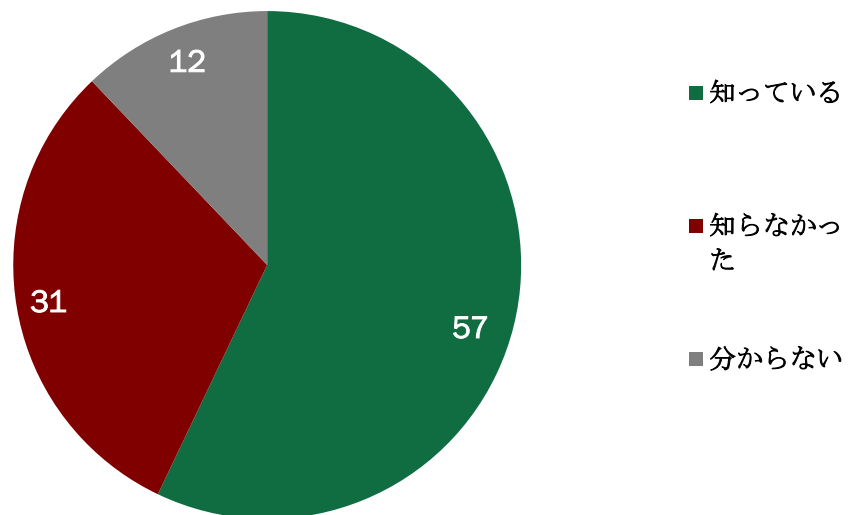


表 16

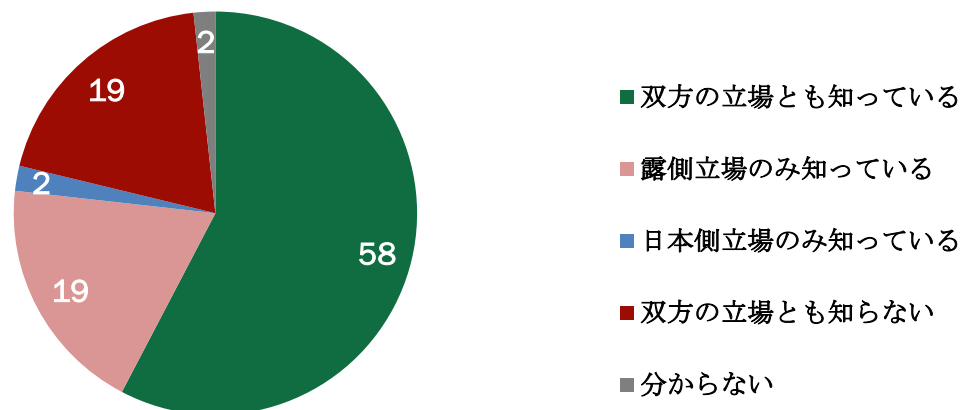
日露間で、択捉、国後、色丹、歯舞の島々の帰属に関する交渉が行われていることを知っていますか。(%, 1つ選択)

	男性			女性	
よく知っている	67			49	
知らなかった	24			36	
分からない	9			15	
	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
よく知っている	36	42	51	67	72
知らなかった	45	46	35	22	18
分からない	19	12	14	11	9

	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン
よく知っている	63	56	54	70	86
知らなかった	29	33	29	23	11
分からない	8	11	18	7	3

交渉における双方の立場についても、ロシア人は十分によく把握している。交渉のことを知っている回答者の多くが(58%)、双方の立場について知っている。回答者の5分の1はロシア側の立場のみを知っているとし(19%)、2%が日本側の立場のみ知っているとした。回答者の5人に1人はどちらの意見も知らないとした(19%)。(図31)

図 31
この問題についてのロシアと日本の立場を知っていますか。
(%, 交渉について知っている人のうち, 1つ選択)



双方の立場とも知っている割合が多いのは男性(63%, 女性は52%), 45~59歳の回答者(64%), モスクワ市及びモスクワ州の住民(66%)。回答者の学歴との法則性が見られた。すなわち、高学歴のロシア人ほど、双方の立場を把握している(9年生までの教育しか受けていない者では39%であったのに対し、学位を持っている回答者では79%)。(表17)

表 17

この問題についてのロシアと日本の立場を知っていますか。
(%, 交渉について知っている人のうち, 1つ選択)

	男性		女性		
双方の立場とも知っている	63		52		
露側立場のみ知っている	17		21		
日本側立場のみ知っている	1		3		
双方の立場とも知らない	17		23		
分からない	1		2		
	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
双方の立場とも知っている	44	48	61	64	58
露側立場のみ知っている	17	25	16	18	20
日本側立場のみ知っている	0	2	3	2	2
双方の立場とも知らない	39	24	18	15	19
分からない	0	1	4	1	2
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン州
双方の立場とも知っている	66	56	55	60	64
露側立場のみ知っている	15	19	23	16	19
日本側立場のみ知っている	3	2	2	3	4
双方の立場とも知らない	14	22	18	20	13
分からない	2	2	2	1	1
	中卒	高卒	高専・専門学校卒	大卒	大学院卒
双方の立場とも知っている	39	48	52	68	79
露側立場のみ知っている	26	23	21	16	10
日本側立場のみ知っている	3	3	2	2	2
双方の立場とも知らない	32	23	23	13	8
分からない	0	3	2	1	1

島々の帰属の問題の解決への道のりについてロシア人の意見は分かれた。すなわち、回答者の 53%はロシアに帰属し、これからもロシアに帰属すると考え、ロシア人の 42%は交渉の継続と相互の合意が必要と述べている(図 32)。

前者の見解は、サハリン住民(73%)及び男性(61%)に支配的だった。後者の立場は女性(51%), 24 歳までの若者(49%), ウラル及びシベリアの住民(45%)に多かった。

(表 18)

図 32

次のどの見解に賛成できますか。

(%, 交渉について知っている人のうち, 1つ選択)

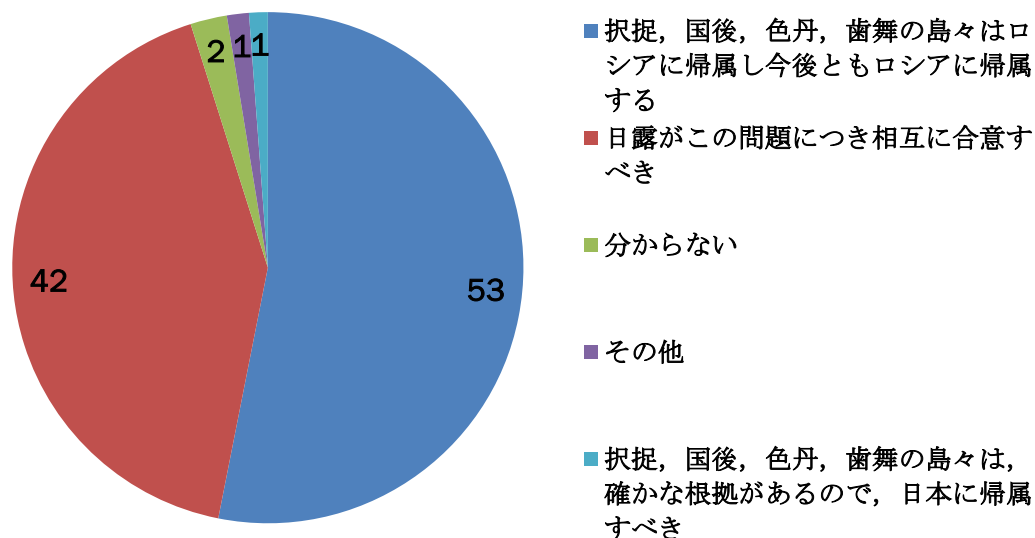


表 18

次のどの見解に賛成できますか。

(%, 交渉について知っている人のうち, 1つ選択)

	男性		女性		
択捉, 国後, 色丹, 歯舞の島々はロシアに帰属し今後ともロシアに帰属する	61		44		
択捉, 国後, 色丹, 歯舞の島々は, 確かな根拠があるので, 日本に帰属すべき	1		1		
日露がこの問題につき相互に合意すべき	34		51		
その他	2		1		
分からない	2		3		
	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
択捉, 国後, 色丹, 歯舞の島々はロシアに帰属し今後ともロシアに帰属する	41	48	57	55	55
択捉, 国後, 色丹, 歯舞の島々は, 確かな根拠があるので, 日本に帰属すべき	4	2	1	1	0

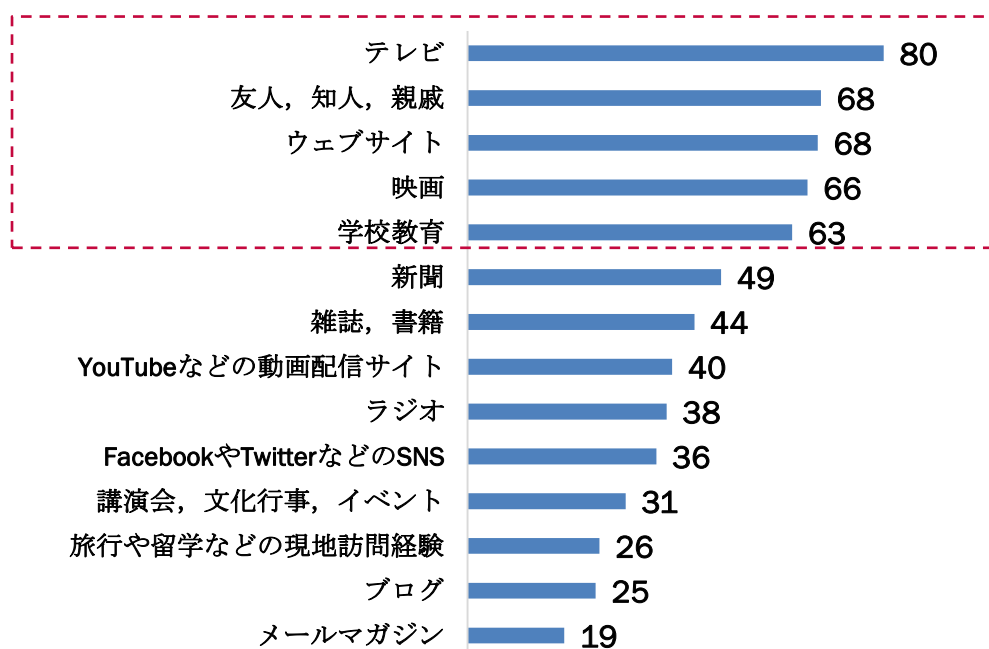
日露がこの問題につき相互に合意すべき	49	48	40	40	40
その他	0	1	1	2	1
分からない	6	2	1	1	3
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン
択捉, 国後, 色丹, 歯舞の島々はロシアに帰属し今後ともロシアに帰属する	53	52	52	64	73
択捉, 国後, 色丹, 歯舞の島々は, 確かな根拠があるので, 日本に帰属すべき	1	1	1	1	1
日露がこの問題につき相互に合意すべき	41	42	45	31	25
その他	1	2	1	2	1
分からない	4	2	2	2	1
	ロシアは日本を信頼できる		ロシアは日本を信頼できない		
択捉, 国後, 色丹, 歯舞の島々はロシアに帰属し今後ともロシアに帰属する	43		64		
択捉, 国後, 色丹, 歯舞の島々は, 確かな根拠があるので, 日本に帰属すべき	2		1		
日露がこの問題につき相互に合意すべき	52		33		
その他	1		1		
分からない	2		1		

国際問題に関するロシア人の関心

半分以上のロシア人が国際ニュースを毎日フォローしている。ロシア人にとっての主な情報源はテレビであり、日本に関するニュースを得る際にもテレビが最もよく利用されている。

ロシア人に最も必要とされている情報源はテレビであり(80%)、そして交友関係やインターネット(それぞれ 68%)である。3番目は映画(66%)。63%の回答者にとっては、学校教育が重要な情報源となっている。半分よりわずかに少ない人(49%)が新聞から情報を得ることをより好んでいる。44%のロシア人にとって、書籍や雑誌は基本的な情報源の一つとなっている。SNS やブログはわずかに少なく、Facebook, Twitter 及びその他の SNS を新たな情報の入手先と考えているのは 36%、ブログについては 25%である(図 33)。

図 33
あなたは普段、知識や情報をどこから得ていますか。(%, 複数回答可)

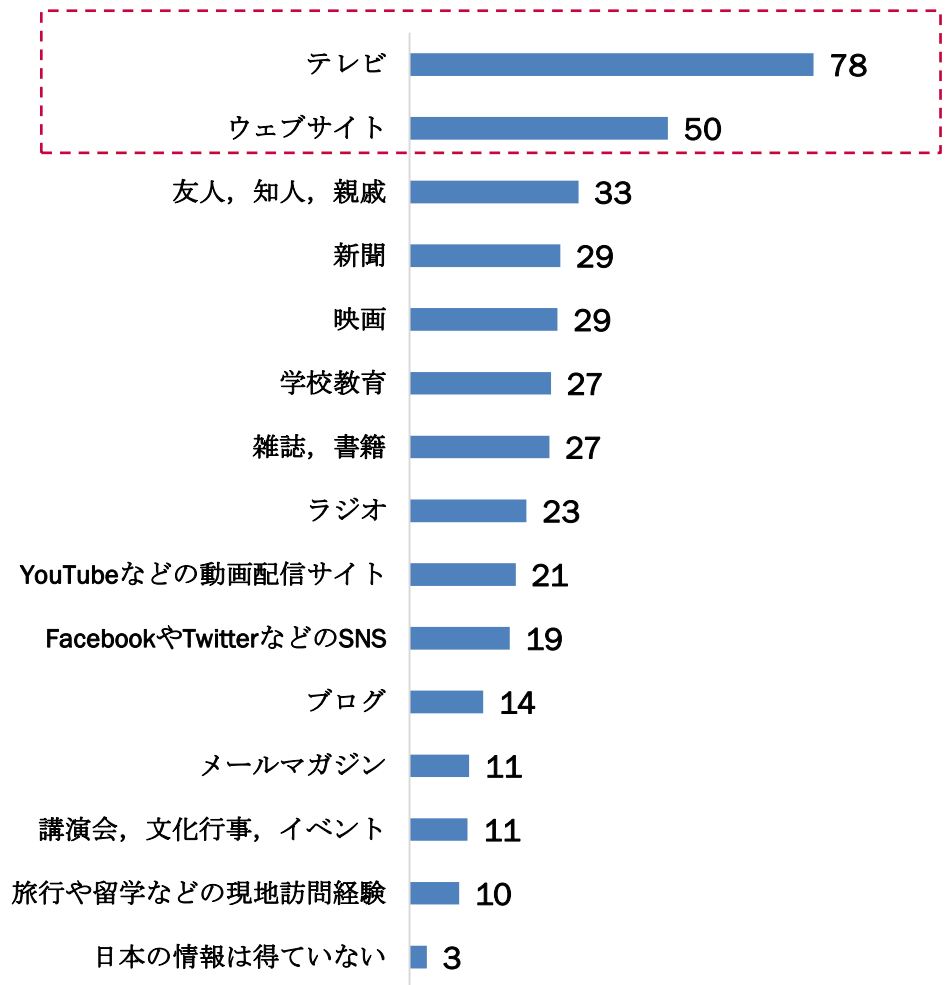


日本に関する情報については、次のことがいえる。すなわち、日常生活における基本的なコミュニケーションチャンネルが日本に関する情報源として最も必要とされている。ロシア人が日本に関する新たな情報を最も頻繁に入手しているのはテレビである(78%)。その目的のためにインターネットサイトを利用することはよ

り少なく(50%)、近しい人々の話もまたそうである(33%)。回答者の29%は新聞及び映画を、27%は学校教育を挙げた。(図34)

図34

あなたは普段、日本の情報をどこから得ていますか。(%, 複数回答可)



回答者の半数以上(56%)が国際ニュースを毎日フォローしている。回答者の年齢が上がるにつれて、より日常的に国際ニュースをチェックしている傾向にある。若者は(18歳~24歳の年齢グループでは33%が、25~34歳の年齢グループでは24%が)国際ニュースを週に2~3回読んだり、聞いたり、目にしている。国際ニュースに対する低い関心または無関心(選択肢「月に1度」「2~3ヶ月に1度」「半年に1度」「年に1度」「ほとんどフォローしない」)は、全回答者の13%が示した。

国際ニュースへの関心は、男女ともほぼ同程度示している。唯一の違いは、国際ニュースを毎日フォローしている割合は男性が62%で、女性が52%であるという点である。その他の点については男女差は2%以下であった。

図 35

あなたはどの程度頻繁に国際ニュースや情報をフォローしていますか。（%, 1つ選択）

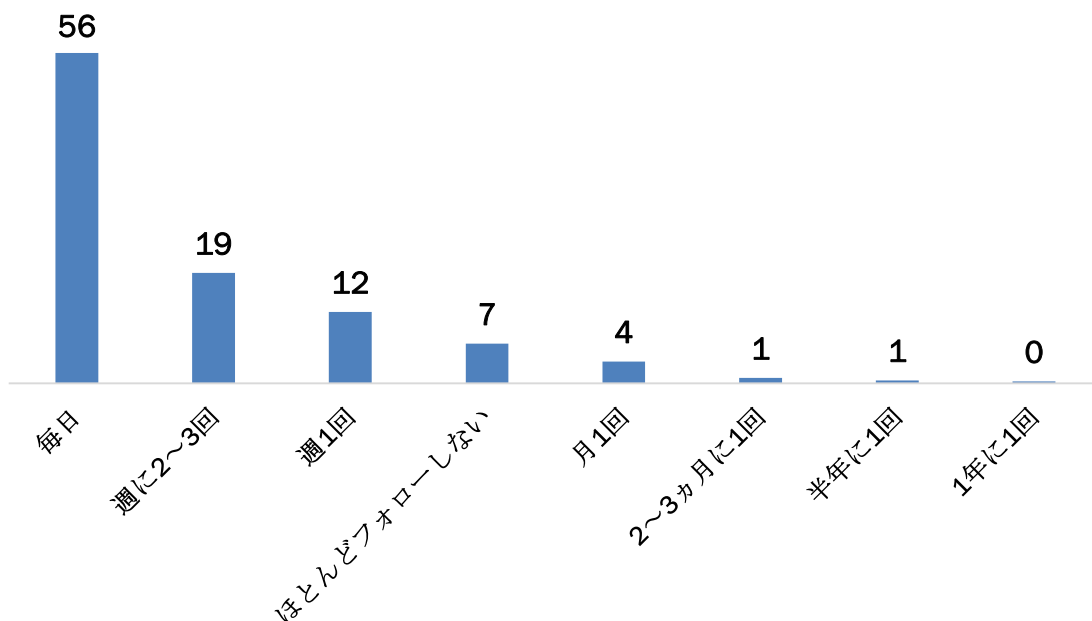


表 19

あなたはどの程度頻繁に国際ニュースや情報をフォローしていますか。（%, 1つ選択）

	男性		女性		
毎日	62		52		
週に2~3回	18		20		
週1回	11		13		
月1回	3		4		
2~3カ月に1回	1		1		
半年に1回	1		0		
1年に1回	0		0		
ほとんどフォローしない	5		9		
	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
毎日	17	35	56	68	80
週に2~3回	33	24	20	16	10
週1回	22	19	12	9	5
月1回	11	7	3	1	1
2~3カ月に1回	3	1	1	0	1

半年に1回	0	2	0	0	0
1年に1回	2	0	0	0	0
ほとんどフォローしない	12	12	7	5	2
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン
毎日	60	57	54	57	56
週に2~3回	19	20	17	17	19
週1回	9	13	13	12	15
月1回	3	3	5	5	3
2~3ヵ月に1回	1	1	1	1	0
半年に1回	1	0	1	1	0
1年に1回	0	0	1	0	0
ほとんどフォローしない	7	6	8	6	6

国際問題に関するニュースに対するロシア人の関心の程度については、圧倒的多数(82%)が国際ニュースに対して多かれ少なかれ関心を持っている。この中でも、強い関心を持つ者とある程度の関心を持つ者の割合はともに41%で同程度となっている。回答者のうち、あまり関心を持っていないと指摘する者は14%、原則として関心のない者は4%である。(図33)

男性及び45歳以上の回答者はこのようなニュースに強い関心を持つことが多い(それぞれ46%及び58%)。24歳までの若者は国際情報に接することがより少なく、若者の多く(51%)はそれほど関心がないことは指摘に値する。(表20)

図33

あなたはそのようなニュースや情報にどの程度関心がありますか。(%, 1つ選択)

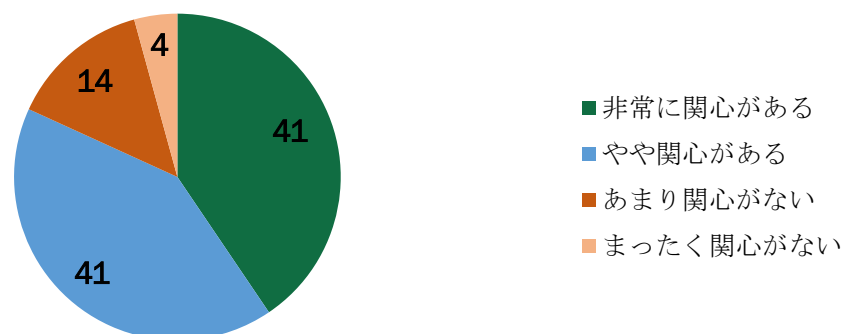


表 20

あなたはそのようなニュースや情報にどの程度関心がありますか。（％，1つ選択）

	男性			女性	
非常に関心がある	46			36	
やや関心がある	41			42	
あまり関心がない	9			18	
まったく関心がない	4			4	
	18-24 歳	25-34 歳	35-44 歳	45-59 歳	60 歳以上
非常に関心がある	17	27	40	45	58
やや関心がある	51	46	45	40	31
あまり関心がない	24	22	9	11	9
まったく関心がない	8	5	5	3	2
	モスクワ市及びモスクワ州	ロシア欧州部	ウラル及びシベリア	極東連邦管区	サハリン
非常に関心がある	47	37	42	44	45
やや関心がある	37	46	36	40	39
あまり関心がない	11	13	17	13	12
まったく関心がない	4	4	5	3	4